

令和3年1月

大阪市医学会  
会長 河田 則文

大阪市医学会第524回例会を下記のとおり開催致しますので、お繰り合せの上御来聴下さるようご案内申し上げます。

## 記

日 時： 令和3年2月4日（木）午後1時30分～（予定）

場 所： 大阪市立大学医学部学舎4F・大講義室、中講義室1  
(2月の学位審査会は2箇所で開催致しますので、ご注意下さい)

当番教室： 大阪市立大学大学院医学研究科  
腎臓病態内科学  
代謝内分泌病態内科学

### 【普通演題：注意事項】

- 普通講演の発表は1題15分以内  
(13分以内が発表で2分が質疑応答の時間とします)  
(講演時間終了1分前 ベル1回、終了時13分 ベル2回鳴ります)
- コンピュータは各自で用意して下さい。(スライドは不可)
- 討論は2分以内、発言者は所属と姓名を告げ、座長の許可を得て下さい。
- 次演者は所定の席に着席して下さい。

### 【学位論文審査会：注意事項】

- 審査時間は1人25分です。  
(10分以内が発表で、約15分が質疑応答の時間とします)  
(発表時間開始8分後および10分後にベルが鳴ります)
- コンピュータは各自で用意して下さい。
- 審査開始時刻の20分前には発表会場の受付にお越し下さい。
- 次演者は所定の席に着席して下さい。

学位論文審査会（大講義室）

1. 13 時 30 分～

Evaluation of FGFR Inhibitor ASP5878 as a Drug Candidate for Achondroplasia

軟骨無形成症に対する薬剤候補としての FGFR 阻害剤 ASP5878 の評価

おぎき ともりのり  
尾崎 友則

(大学院医学研究科・整形外科学\*)

【主査:中村 博亮 副査:鶴田 大輔・濱崎 考史】

2. 13 時 55 分～

Expression and Function of Fibroblast Growth Factor 1 in the Hypertrophied Ligamentum Flavum of Lumbar Spinal Stenosis

腰部脊柱管狭窄症の肥厚黄色靭帯における Fibroblast Growth Factor 1 の発現と機能

はしぶら はびび  
Hasibullah Habibi

(大学院医学研究科・整形外科学\*)

【主査:中村 博亮 副査:池田 一雄・後藤 剛夫】

3. 14 時 20 分～

Splenic Vein Diameter is a Risk Factor for the Portal Venous System Thrombosis after Partial Splenic Artery Embolization

脾静脈径は部分的脾静脈塞栓術後の門脈系血栓症の危険因子である

おがわ きとゆき  
小川 聡幸

(大学院医学研究科・放射線診断学・IVR 学\*)

【主査:三木 幸雄 副査:大平 雅一・河田 則文】

4. 14 時 45 分～

Precancerous Lesions and Liver Atrophy as Risk Factors for Hepatolithiasis-related Death after Liver Resection for Hepatolithiasis

肝内結石症に対する肝切除後本症関連死亡の危険因子としての前癌病変と肝萎縮の意義

みやざき とおる  
宮崎 徹

(大学院医学研究科・肝胆膵外科学\*)

【主査:河田 則文 副査:大平 雅一・首藤 太一】

5. 15 時 10 分～

Smoking is Associated with the Severity of Rhododendrol-induced Leukoderma and with the Occurrence of Leukomelanoderma

重症ロドデノール誘発性脱色素斑と白斑黒皮症の喫煙との関連

ふくなが よしえ  
福永 淑恵

(大学院医学研究科・皮膚病態学\*)

【主査:鶴田 大輔 副査:繪本 正憲・内田 潤次】

6. 15 時 35 分～

Three-year Epidemiological Analysis of *Clostridioides difficile* Infection and the Value of Hospital-infection Control Measures in a Tertiary-care Teaching Hospital in Japan Using PCR-based Open-reading Frame Typing

当院における *Clostridioides difficile* 毒素陽性症例の PCR-based ORF Typing (POT) 法を用いた 3 年間の分子疫学解析と院内感染対策における有用性

なかいえ きよたか  
中家 清隆

(大学院医学研究科・臨床感染制御学)

【主査:掛屋 弘 副査:日野 雅之・鶴田 大輔】

7. 17 時 00 分～

6His-tagged Recombinant Human Cytoglobin Deactivates Hepatic Stellate Cells and Inhibits Liver Fibrosis by Scavenging Reactive Oxygen Species

6His タグ付き組換えヒトサイトグロビンは活性酸素種を除去することにより肝星細胞を不活性化し肝線維症を阻害する

にん くおつく だっと  
NINH QUOC DAT

(大学院医学研究科・肝胆膵病態内科学\*)

【主査:河田 則文 副査:池田 一雄・大谷 直子】

8. 17時25分～

Upregulation of PTK7 and  $\beta$ -catenin after Vaginal Mechanical Dilatation: An Examination of Fibulin-5 Knockout Mice

Fibulin-5 ノックアウトマウスでの膣拡張による PTK7 と  $\beta$ -catenin の発現と骨盤臓器脱発症の関連

うねむら  
植村 遼

(大学院医学研究科・女性生涯医学\*)

【主査:古山 将康 副査:大谷 直子・内田 潤次】

学位論文審査会 (中講義室 1)

1. 13時30分～

Mutational Landscape of Multiple Primary Lung Cancers and its Correlation with Non-intrinsic Risk Factors

多発肺がんにおける遺伝子変異プロファイルと環境因子の関係

いづみ もとひろ  
泉 源浩

(大学院医学研究科・呼吸器内科学\*)

【主査:川口 知哉 副査:鰐淵 英機・藤原 靖弘】

2. 13時55分～

PRMT1 Expression Predicts Response to Neoadjuvant Chemotherapy for Locally Advanced Uterine Cervical Cancer

PRMT1 の発現による局所進行子宮頸癌に対する主治療前化学療法の効果予測

しもむら まさひろ  
下村 将央

(大学院医学研究科・女性病態医学\*)

【主査:角 俊幸 副査:大澤 政彦・川口 知哉】

3. 14時20分～

PRMT1 Expression Predicts Sensitivity to Platinum-based Chemotherapy in Patients with Ovarian Serous Carcinoma

漿液性卵巣癌患者のプラチナ製剤感受性は PRMT1 の発現により予測できる

まつばら ひろあき  
松原 裕明

(大学院医学研究科・女性病態医学\*)

【主査:角 俊幸 副査:大澤 政彦・川口 知哉】

4. 14時45分～

Safety of Anterior Cervical Discectomy and Fusion Using Titanium-coated Polyetheretherketone Stand-alone Cages: Multicenter Prospective Study of Incidence of Cage Subsidence

チタンコートポリエーテルエーテルケトン独立型ケージを用いた前方除圧固定術の安全性: ケージ沈み込みの発生率についての他施設共同前向き研究

なかにし ゆうた  
中西 勇太

(大学院医学研究科・脳神経外科学\*)

【主査:後藤 剛夫 副査:中村 博亮・三木 幸雄】

5. 15時10分～

Comparison of the Keyhole Trans-middle Temporal Gyrus Approach and Transsylvian Approach for Selective Amygdalohippocampectomy: A Single-center Experience

選択的海馬扁桃体摘出術における経中側頭回到達法と経シルビウス裂到達法の単施設比較研究

うだ ひろし  
宇田 裕史

(大学院医学研究科・脳神経外科学\*)

【主査:後藤 剛夫 副査:伊藤 義彰・元村 尚嗣】

6. 15時35分～

Combination of p53 and Ki67 as a Promising Predictor of Postoperative Recurrence of Meningioma

髄膜腫術後再発の予測因子として p53 および Ki67 は有用である

ながはま あつふみ  
長濱 篤文

(大学院医学研究科・脳神経外科学\*)

【主査:後藤 剛夫 副査:大平 雅一・角南貴司子】

## 学位論文審査会 (2/5 開催)

1. 16時30分～ 市大学舎4階 小講義室2

**Stress can Attenuate Hepatic Lipid Accumulation via Elevation of Hepatic  $\beta$ -muricholic Acid Levels in Mice with Nonalcoholic Steatohepatitis**

ストレスは、肝内 $\beta$ -ムリコール酸レベルを上昇させ、非アルコール性脂肪性肝炎の脂質蓄積を減弱させる

ただ  
高田 さゆり

(大学院医学研究科・機能細胞形態学\*)

【主査:池田 一雄 副査:繪本 正憲・冨田 修平】